

アジア・太平洋琉球孤住民 交流会アピール

私たちは、アジア・太平洋・琉球弧交流会に集い、報告、交流、追う論を深めることを通して、共通認識と相互理解を得ることができた。

第一に、私たちは、沖縄とアジア・太平洋地域の民衆が共通の歴史と諸問題を共有していることを知った。

◇ かつて、私たちは、豊かな自然と人間性を基礎にした平和な文化、社会をつくっていた。

◇ 私たちは、長年にわたる大国の植民地支配によって、その豊かで平和な人間性、社会を破壊された。そして私たち沖縄は破壊者の側にあつたことを、痛みをもって想いを新たにします。

◇ かつての太平洋戦争では、ハワイから南はバブアニューギニア、沖縄に至るアジア・太平洋の島々が日米の戦場となり、殺され、奪われ、焼きつ

くされた。

◇ 戦後は、米、仏の軍事支配と主に日本の経済侵略によって生命と土地を奪われ、主権を侵され、乱開発と自然破壊が進行した。

◇ そして今、米仏の太平洋における軍事支配の強化は、核による脅威を増大させるだけでなく、女性の性商品化、麻薬等の人権侵害をすすめ、諸悪の根源となっている。さらに、INF（中距離核ミサイル）制限交渉以降、逆に、太平洋における核ミサイル、艦船配備が増大し、急速な海の軍事化が進行している。また日本はアメリカに加担し、アジア太平洋諸国に大きな脅威を与えている。

第二に私たちは、二十一世紀に向かって、アジア・太平洋地域の希望の未来のためにも戦っていくことを確認した。

◇ 私たちは、沖縄とアジア・太平洋地域から、すべての外国勢力の軍事基地を撤去させ、大国と地域的な覇権国による軍事支配のない平和な地域にしていこう。そしてこの秋予定されているPACEX（環太平洋軍事演習）につよく反対する。

◇ 私たちは、乱開発、土地収奪、自然破壊に反対し、自然との共生の中で培ってきた伝統的で独自の生活文化を確立する。

- ◇ 私たちは、女性差別をはじめあらゆる差別に反対し、自由、平等、正義と平和を求めていく。
- ◇ 私たちは、あらゆる外国による支配と国内的な先住・少数民族に対する支配に反対し、自らの運命を自ら決める普遍的自決権を確立する。
- ◇ 私たちは、こうした共同のヴィジョンを実現するために、それぞれの自立した運動をすすめて、相互に連帯、支援し、平和、正義、尊厳へ向かう民衆の大きなウネリへと発展させることを決意した。

